

「花盛りトーク<ワンペーパー版>」を利用したアイスブレイク活動の進め方（口述）

■準備するもの

シート（グループ数+教師用）、グループ用サイコロ（グループ数）、教師用サイコロ（少し大きめのもの1つ）
※グループのメンバー数は、4～5名がいいと思います。

■活動の進め方（口述）

<始めの挨拶>「これから『花盛りトーク』を始めます。」

「お互いの顔を見ながら、『よろしくお願ひします』とあいさつをしましょう。」

「まず、質問シートとサイコロを配布します。」<◆教師は各グループにシートとサイコロを配布する>

<流れの説明>「活動の流れを確認をします。よく聞いてください。」

★このシートには36の質問があります。2回サイコロをふってどの質問について話すか決めます。

そして、グループのメンバー全員が一人ひとりその質問に答えながら、おしゃべりを楽しむ活動です。

★最初に私（教師）がサイコロをふって1stの大きい目を決定します。次に、グループのメンバーがサイコロをふって2ndの小さい目、つまりどの質問についてトークするかを決めます。

★決まった質問について、サイコロをふった人から30秒程度で回答してください。

時計回りで順々に回答していきます。3分経ったらお知らせしますので、次の質問に移ります。

<注意点の確認>「みんなが気持ちよく活動するための**注意点**が2つあります。よく聞き、必ず守りましょう。」

★シートにはいろいろな質問がありますが、答えたくない質問はパスすることができます。

「パスします」と言えばOKです。パスした人を責めるようなことはしないでください。

★他の友だちが話すことに対して、バカにして笑ったり、からかったりしてはいけません。

笑顔でうなずきながら友だちの話を聞きましょう。

「みなさん、この2点について約束できますか。」



「それでは、グループの中でじゃんけんをして最初にサイコロをふる人を決めてください。」

※じゃんけんもアイスブレイキングの一部と考えますが、「後ろの出口にもっとも近い人が1番です」というように教師が決めてもOK。

<活動の開始>「活動を始めますが、ここまでの説明で質問はありますか。」

「それでは活動を始めます。まず私がサイコロをふります。注目～！」<◆教師はサイコロをふる>

「()が出ました。」<全体にサイコロを見せながら数字を宣言する>

「グループの中で1番目の人は、サイコロをふってトークを始めてください。」

<3分間を計測>

「はい、終わりです。次の質問に移ります。私の方を見てください。」<◆教師はサイコロをふる>

※以後、繰り返し、グループでサイコロをふる生徒も時計回りで順番に。

「さて、盛り上がってきたところですが、活動はここで終わります。みなさん、楽しくお話ができましたか。」

※時間的な余裕があれば、ここで数名を指名して感想などを発表させるなどして、「ふりかえり」をしてもOK。

<終わりの挨拶>「お互いの顔を見ながら、『ありがとうございました』とあいさつをしましょう。」